

安全な冬を迎えるために ～実践すべき4つの備え～

冬に大きな地震が発生すると、強い揺れや津波の被害に加え、雪や寒さによる二次被害が起こることもあります。冬の地震は特に危険といわれているため、本格的な冬を迎える前に本特集で対策を講じましょう！

❄️ 雪への対策

◎避難口の確保や落雪による家屋の倒壊や事故を防ぐため、**屋根の雪下ろし、玄関や家の周りのこまめな除雪**をしておきましょう。

※屋根の雪下ろしをする際は、以下のことに注意してください。

- ①家族や近所の方に声をかけて複数人で行うようにする。
- ②はしごの固定または靴やはしごに滑り止めをつけるなどの工夫をする。
- ③万が一に備えて、命綱やヘルメットを装着する。
- ④建物のまわりに雪を残した状態で雪下ろしをする。
- ⑤屋根の雪がゆるむ晴れの日には特に注意する。



◎冬の避難は、路面の積雪や凍結、吹雪の影響で時間がかかります。

事前に避難場所や避難所までの経路を確認しておきましょう。

また、積雪時に避難経路を実際に歩いてみて、経路に障害となるものがないかも併せて確認してください。



避難の際は、移動中に転倒して負傷しないよう、路面状況を確認して慌てずに避難しましょう。

◎運転中に車が雪に埋まった場合は、**エンジンを切ってください**。防寒などでやむを得ずエンジンをかけるときは、**マフラーが埋まらないように定期的に除雪し、窓を少し開けて換気**しましょう。

💡マフラーが雪に埋まると排気ガスが車内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす可能性があります。



❄️ 寒さへの対策

冬の地震で電気やガスが止まった際は、**低体温症に注意が必要**です。暖房器具が使えなくなったときのために、**ポータブルの暖房器具を用意しておく**と安心です。また、避難に備えて防寒グッズをまとめておき、いつでも持ち出せるようにしておきましょう。

防寒グッズの一例



□ 防寒着



□ 毛布



□ 使い捨てカイロ

災害備蓄品や非常用持ち出し品についてはこちらから
(広報3月号 特集)

